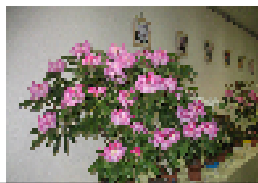


しゃくなげ共同作業所 だより

2013年 平成25年1月号 (No.31)

NPO 法人しゃくなげ
京都市右京区京北周山町高梨子 12
電話&FAX 075-852-1945
http://shakunage.com/
kss@shakunage.com
発行責任者 林 隆男



新しい門出を

しゃくなげ共同作業所
TEL 075-852-1945

しゃくなげ

新年 あけまして おめでとうございます



本年も宜しく
お願い申し上げます

☆ あたらしい道がひらける 一度作業所にご連絡ください！

- *お問い合わせ先 京北出張所
- ・知的、身体の方 福祉担当 075-852-1815
- ・精神の方 保健担当 075-852-1816
- ・又は、当作業所までご連絡ください。
送迎のご相談もお受けします

> 12月の出来事 <

- 1日 G/Hやちよ荘 開所
- 3日 G/Hやちよ荘 開所式 37名出席
- 11日 右京こころのネット 運営部会
- 12日 第22回昼食会 22名参加
- 13日 U-ネット 世話役会
- 14日 第四回理事会 (G/Hやちよ荘・管理室)
- 17日 お誕生会 23名参加
- 19日 伏見稲荷大社寄付金・拝受 (作業所)
- 20日 福祉屋台 サンサ右京
- 21日 ウッディー京北 委託販売研修会
- 25日 きょうされん市内ブロック会議
- 28日 仕事納め 作業所年末大掃除
- 29日 年末年始休暇 ~3日迄

京北地域の皆さま、明けましておめでとうございます。旧年中はNPO法人しゃくなげの活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も地域の障がい者福祉の向上を目指して、役職員一致団結し、より一層努力し頑張りたいと思います。

また、昨年12月にオープンしたG/H やちよ荘にとりましては初めてのお正月、大晦日年越しそばを食べてお正月の間、利用者の皆さんはのんびり過して居られました。皆さんの笑顔を見てみると、第3目標の「生活介護」等、福祉事業の充実に、力がみなぎって参ります。

本年も何卒、皆さまの温かいご支援を
心よりお願い申し上げます。

平成25年 元旦 理事長 林 隆男



> 連載・しゃくなげの女芭蕉たち <

年も明け、去年の春より詠みだした女傑2人の句も年をまたぎ、ますますの上達ぶりには目をみはるものがあります。今年も元気で地域の愛読者さんに素晴らしい句を提供してってください。今後の二人の活躍に皆さん期待しています。

> 1月の予定 <

- 4日 NPO 法人しゃくなげ 事務所開き
- 7日 しゃくなげ共同作業所 初出
京都市新規事業者説明会
京都生協京北行政区委員会やちよ荘見学
- 16日 U-ネット 連絡会 サンサ右京
- 24日 福祉屋台 サンサ右京

初雪や
昭和遠く
なりにけり



新春を
思いでともに
年重ね

> 第 2 2 回 屋 食 会 <

今回の参加は 22 名で、畑で育てている白菜を、まるまる 1 個使い、暖かいクリームシチューを作りました。1 個丸ごと入りきるか心配でしたが、野菜は煮込むとかさも減り、大きい鍋ひとつに全部入りました。たくさんの野菜がとろとろとよく煮込まれて、甘くおいしくなっていました。寒いこの時期に、シチューで体もあたたまったことでしょう。今年もガンバルゾー



暖かクリームシチュー



皆さんでお祝い ♪

> お 誕 生 会 <

12 月のお誕生会は利用者さん 3 人が 20 名の方々に祝福されました。Y さんは作業所のリーダー的存在で、人望もあつく、障がい者が利用される作業所の意義と、その良さを皆さんに伝えていました。これからも皆さんの為、宜しく願います。T さんは今までは 1 人で生活していましたが「やちよ荘」に入所され、規則正しい生活と、食事にとっても満足されています。M ちゃんは作業所一の人気者で、最近では「さおり織」の腕をどんどん上げてきています。ホームに入所し、リズムにのり快調に毎日ルンルンに楽しんでおられます。いつまでも「その笑顔」忘れずにガンバッテネ!

> やちよ荘 利用者さんより一言 <

T さんは女性の方で、最初は不安にかられ心配でしたが、少しずつ慣れて、今は絶好調に生活しています。食事はベテラン主婦によるとても美味しい料理で、昼の弁当を含めて、大満足しています。本当に入所して良かったと思います。♡♡♡



皆さんおいしそう



24 年最後の福祉屋台

> 今年最後の福祉屋台 <

昨年最後の福祉屋台 (U-ネット) がサンサ右京にて催されました。利用者の HT さんがたつての希望にて参加されはりきっていました。年 8 回の出店で、なじみのお客さんも増え、だんだん安定して売上げも上るようになって利用者さんも大変喜んでます。これも一重に皆様方のおかげです。本当にありがとうございます。そして、昨年同様、本年も宜しく願います。

> 伏見稲荷大社より寄付 <

12 月 19 日、京都市障害保健福祉推進室の推薦により 附属講務本庁より正禰宜殿が京都市福祉推進室の職員 3 名と来所され、寄付金を贈呈いただき、大社による障害者施設への理解を説明され、当作業所運営のために寄与したいと言っていました。当日は朝から雪が積もり、大変寒い日でしたがわざわざ京都市内より来ていただき誠に恐縮の至りです。事業所の整備拡充、利用者さんの為、大切に使用させていただきます。本当に有難うございました。



伏見稲荷大社より



作業所内を視察

> 職員より新年の抱負 <

武士道

己の心身を強化し、我慢を重ね、調和をはかり、そして弱いものを守る。 平元

勇氣

何事をするにしても、ちよっぴり、ことによってはたっぷりの勇氣が必要だとしみじみ感じています。めげないで前進していきたいです。

左賀

一所懸命

“一生”ではなく“一所”。まず今ある一つの事を確実にやり、そして一歩ずつ前進していきます。

新庄

根

ここ京北で、しゃくなげで、大木のように根を据え、柳のようにしなやかな対応ができ、竹のように成長できる年にしたいです。

阿部

健康

体が資本です。体力勝負

北村

平穩な事

何事もなく 1 日を無事おだやかにすごせる事。その事が実はとても難しく、そして一番幸せな事だと思います。

川面

継続は力なり

物事を成し遂げるまで諦めず日々努力し続けることが経験や力に、そして能力になる事を信じて、これからも齢を重ねていきたいと思ひます。

田中

出会い

出会いを大切に、そして日々自分に努力を

本井